

■ 請求書の記入例(通常)

御 請 求 書

① **日本橋 一郎 様**

下記の通り、ご請求申し上げます。 ④ 工 事 名 日本橋 一郎 様 邸  
V2H充放電設備設置工事

② 2021年3月20日

③ 株式会社 桜設備  
代表取締役 桜 虎太郎  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門2丁目5番55号△△ビル7F  
TEL (03) 5555-8888  
FAX (03) 2222-7777

⑤ 御支払条件 振込

見積金額 **¥2,486,000**

品名及び仕様	数量	単位	単価	金額	備考
V2H充放電設備					
⑥ (株)NEV電機製 型式: ABCD-01	1	基	¥2,000,000	¥2,000,000	
電気配線工事					
⑦ 分電盤 △△△(株) 型式: ●●-□□□	1	個	¥10,000	¥10,000	
⑧ 配線 CVT38	20	m	¥1,800	¥36,000	
接地棒	1	本	¥1,000	¥1,000	
電線管 PF54	6	m	¥600	¥3,600	
⑨ 電工労務費	2	人工	¥28,000	¥56,000	
雑材消耗品	1	式	¥3,000	¥3,000	
基礎工事					
生コン打設	1	m <sup>3</sup>	¥10,600	¥10,600	
小屋設置工事					
⑦ 小屋本体 ○○(株) 型式: ■■	1	個	¥94,900	¥94,900	
⑨ 小屋設置工事費	1	人工	¥28,000	¥28,000	
図面作製費用	4	枚	¥5,000	¥20,000	
※ 端数値引き(電工労務費より値引き)				(¥3,100)	
消費税(10%)				¥226,000	
合 計(税込)				¥2,486,000	

【記載の必須項目】

- ① 《宛先》  
・申請者宛であることの記載
- ② 《請求書作成日》  
・領収日以前である日付の記載
- ③ 《発行者》  
・V 2 H 充放電設備販売会社、工事施工会社の名称、住所等の記載 (押印必須)  
※押印については会社を代表する印または契約締結に使用する印(角印・丸印どちらでも受付可)を使用してください。
- ④ 《設置場所》  
・設置場所が特定できる記載 (例 ○○邸)
- ⑤ 《支払条件》  
・認められた支払い方法であることの記載  
※他の取引との相殺払い、手形(電子手形を含む。)による支払および裏書譲渡、ファクタリング(債権譲渡)を利用した支払等は認めておりません。
- ⑥ 《V 2 H 充放電設備》  
・メーカー名、型式、基数、単価(税抜)、金額の記載
- ⑦ 《部材: 分電盤やブレーカー、付帯設備等》  
・メーカー名、型式(仕様等)、数量、単価(税抜)、金額の記載
- ⑧ 《材料費: 電線や配管等》  
・種類(仕様等)、数量、数量単価(税抜)、金額の記載
- ⑨ 《労務費》  
・人工数、人工単価(税抜)、金額の記載

※値引きがある場合  
総額からの値引きではどこからの値引きか判断できないため、どの部分からの値引きかわかるように記載してください。

注意点

「材工一式」といった簡略記載の「請求書」では補助金額を算定できず審査ができませんので、部材や労務費などが記載された内訳書のコピーを提出してください。

■ 請求書の記入例(リース契約の場合)

## 御 請 求 書

① **日本橋 一郎 様**

下記の通り、ご請求申し上げます。④

**見積金額 ¥2,486,000**⑤

② 2021年3月20日

③ **株式会社 桜リース**  
 代表取締役 桜 虎太郎  
 〒105-0001  
 東京都港区虎ノ門2丁目5番55号△△ビル7F  
 TEL (03) 5555-8888  
 FAX (03) 2222-7777

④ 工 事 名 日本橋 一郎 様 邸  
V2H充放電設備設置工事

⑤ 御支払条件 振込

品名及び仕様	数量	単位	単価	金額	備考
V2H充放電設備					
⑥ (株)NEV電機製 型式：ABCD-01	1	基	¥2,000,000	¥2,000,000	
電気配線工事					
⑦ 分電盤 △△△(株) 型式：●●-□□□	1	個	¥10,000	¥10,000	
⑧ 配線 CVT38	20	m	¥1,800	¥36,000	
接地棒	1	本	¥1,000	¥1,000	
電線管 PF54	6	m	¥600	¥3,600	
⑨ 電工労務費	2	人工	¥28,000	¥56,000	
雑材消耗品	1	式	¥3,000	¥3,000	
基礎工事					
生コン打設	1	m <sup>3</sup>	¥10,600	¥10,600	
小屋設置工事					
⑦ 小屋本体 ○○(株) 型式：■ ■	1	個	¥94,900	¥94,900	
⑨ 小屋設置工事費	1	人工	¥28,000	¥28,000	
図面作製費用	4	枚	¥5,000	¥20,000	
※ 端数値引き(電工労務費より値引き)				(¥3,100)	
消費税(10%)				¥226,000	
合 計(税込)				¥2,486,000	

【記載の必須項目】

- ① 《宛先》  
・申請者宛であることの記載
- ② 《請求書作成日》  
・領収日以前である日付の記載
- ③ 《発行者》  
・リース会社の名称、住所等の記載（押印必須）  
※押印については会社を代表する印または契約締結に使用する印(角印・丸印どちらでも受付可)を使用してください。

- ④《設置場所》  
・設置場所が特定できる記載（例 ○○邸）

- ⑤《支払条件》  
・認められた支払い方法であることの記載  
※他の取引との相殺払い、手形（電子手形を含む。）による支払および裏書譲渡、ファクタリング（債権譲渡）を利用した支払等は認めておりません。

- ⑥《V2H充放電設備》  
・メーカー名、型式、基数、単価（税抜）、金額の記載

- ⑦《部材：分電盤やブレーカー、付帯設備等》  
・メーカー名、型式（仕様等）、数量、単価（税抜）、金額の記載

- ⑧《材料費：電線や配管等》  
・種類（仕様等）、数量、数量単価（税抜）、金額の記載

- ⑨《労務費》  
・人工数、人工単価（税抜）、金額の記載

※値引きがある場合  
総額からの値引きではどこからの値引きか判断できないため、どの部分からの値引きかわかるように記載してください。

注意点

・「材工一式」といった簡略記載の「請求書」では補助金額を算定できず審査ができませんので、部材や労務費などが記載された内訳書のコピーを提出してください。

・リース会社発行の請求書内訳書がない場合は、V2H充放電設備販売会社や工事施工会社がリース会社宛てに発行した内訳書のコピーを提出してください。

■請求書の記入例(クレジット・ローン契約の場合)

御 請 求 書

①

〇〇クレジット株式会社 御中

下記の通り、ご請求申し上げます。

④ 工 事 名 日本橋 一郎 様 邸  
V2H充放電設備設置工事

見積金額 **¥2,486,000**

⑤ 御支払条件 振込

② 2021年3月20日

③

株式会社 桜設備

代表取締役 桜 虎太郎  
〒1105-0001

東京都港区虎ノ門2丁目5番55号△△ビル7F

TEL (03) 5555-8888

FAX (03) 2222-7777



品名及び仕様	数量	単位	単価	金額	備考
V2H充放電設備					
⑥ (株)NEV電機製 型式: ABCD-01	1	基	¥2,000,000	¥2,000,000	
電気配線工事					
⑦ 分電盤 △△△(株) 型式: ●●-□□□	1	個	¥10,000	¥10,000	
⑧ 配線 CVT38	20	m	¥1,800	¥36,000	
接地棒	1	本	¥1,000	¥1,000	
電線管 PF54	6	m	¥600	¥3,600	
⑨ 電工労務費	2	人工	¥28,000	¥56,000	
雑材消耗品	1	式	¥3,000	¥3,000	
基礎工事					
生コン打設	1	m <sup>3</sup>	¥10,600	¥10,600	
小屋設置工事					
⑦ 小屋本体 ○○(株) 型式: ■■	1	個	¥94,900	¥94,900	
⑨ 小屋設置工事費	1	人工	¥28,000	¥28,000	
図面作製費用	4	枚	¥5,000	¥20,000	
※ 端数値引き(電工労務費より値引き)				(¥3,100)	
消費税(10%)				¥226,000	
合 計(税込)				¥2,486,000	

【記載の必須項目】

①《宛先》

・ローン・クレジット会社宛であることの記載

②《請求書作成日》

・領収日以前である日付の記載

③《発行者》

・V 2 H充放電設備販売会社、工事施工会社の名称、住所等の記載  
(押印必須)

※押印については会社を代表する印または契約締結に使用する印(角印・丸印どちらでも受付可)を使用してください。

④《設置場所》

・設置場所が特定できる記載 (例 ○○邸)

⑤《支払条件》

・認められた支払い方法であることの記載

※他の取引との相殺払い、手形(電子手形を含む。)による支払および裏書譲渡、ファクタリング(債権譲渡)を利用した支払等は認めておりません。

⑥《V 2 H充放電設備》

・メーカー名、型式、基数、単価(税抜)、金額の記載

⑦《部材: 分電盤やブレーカー、付帯設備等》

・メーカー名、型式(仕様等)、数量、単価(税抜)、金額の記載

⑧《材料費: 電線や配管等》

・種類(仕様等)、数量、数量単価(税抜)、金額の記載

⑨《労務費》

・人工数、人工単価(税抜)、金額の記載

※値引きがある場合

総額からの値引きではどこからの値引きか判断できないため、どの部分からの値引きかわかるように記載してください。

注意点

「材工一式」といった簡略記載の「請求書」では補助金額を算定できず審査ができませんので、部材や労務費などが記載された内訳書のコピーを提出してください。